

風の会 通信23号

みんなが主役！
ゴールデンエイジ ネットワーク
風の会

<http://www.g-kaze.com/>

◆NPO 法人ゴールデンエイジネットワーク風の会 事務局 ●TEL:06-6356-8786 ●FAX:06-6356-0904
〒534-0024 大阪市都島区東野田町 2-8-2 久豊二番館 5F ●E-mail:webs@g-kaze.com

少しまじめに考える会(2/19)ご報告

《古代インド仏教のルーツ》

～ANCIENT INDIAN BUDDHISM ROOTS～

【講師】グデラ ワサンタさん(日本在住 26年 IT 関連会社副社長)
インド人による古代インド仏教についてのお話ということで少しかためな話になるのかと、聞くほうも最初は肩に力が入っていたようなところがありました。話が進むうちに日本の仏教と少し違うところがあり、しかもグデラさんの体験に基づく話だったので興味津々、最後は目からウロコのような質疑応答になりました。

今回はインド人ということもあり、言葉も含めて日本人より日本のことを理解しているという点で教えられること多かったセミナーになりました。



新会員さんご紹介

現代文字研究所
The Modern Letter Research Institute

現代文字研究所さんのサイトへは風の会リンク集からどうぞ！

<http://moji-art.jp>

今回の風の会通信の表紙が「様々な切り口から文字を捉え直す」という『現代文字研究所』代表、山本さんの作品。7月開催の『第1回 国際手書き文字 Art 展』に向けて、文字を使った今までにない全く新しい作品を募集しています。(大賞には賞金 10 万円、他各賞あり。募集要項は現代文字研究所のホームページにも掲載。) また、8 月には「文字おもしろ組」というユニークな講座が開催されます。ご興味のある方は山本さんまでご連絡を。

現代文字研究所 電話:080-3768-3775(山本)

風の会... 会員募集!

★まんねん倶楽部会員(無料)・風の会会員(入会金 5,000 円+年会費 10,000 円)です。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。詳しくは事務局までお問い合わせください。



新たな夢の実現に向けて「コラボ未来創造」を旗揚げ

このたび開催することになった「エアディナー大会」は、各マスコミで思わぬ反響を呼んでいます。その企画準備実行委員会として「コラボ未来創造」という組織を立ち上げました。これは今後、風の会を事務局として運営していくもので、文化創造倶楽部世話人の小野元裕さん、本紙前号の新会員欄で紹介した(株)スプラウトの坂下五男さん、脇元美智子さん、よろづ請負オフィス天の森政生さん(小野さんの紹介)らが中心となって4月1日からスタートします。エアディナー大会も今後、コラボ未来創造が主催する形で展開し、日本国内のみならず世界大会開催を目指すという野望を抱えています。さらには、同組織はさまざまな団体や企業とのコラボレーションを図っていくもので、各世代間や異業種の交流、それぞれの夢の実現などに向けて活動していきます。未来を創造していくという意味において、これまでの既成概念にとらわれず、自由な発想で皆様のお役に立てればと願っています。詳しくは、これからのサイト運営の中で紹介していきますが、活動主旨にご賛同下さる団体・個人・企業等のご参加をお待ちしています。詳細は事務局「風の会」(06-6356-8786)までお問い合わせ下さい。

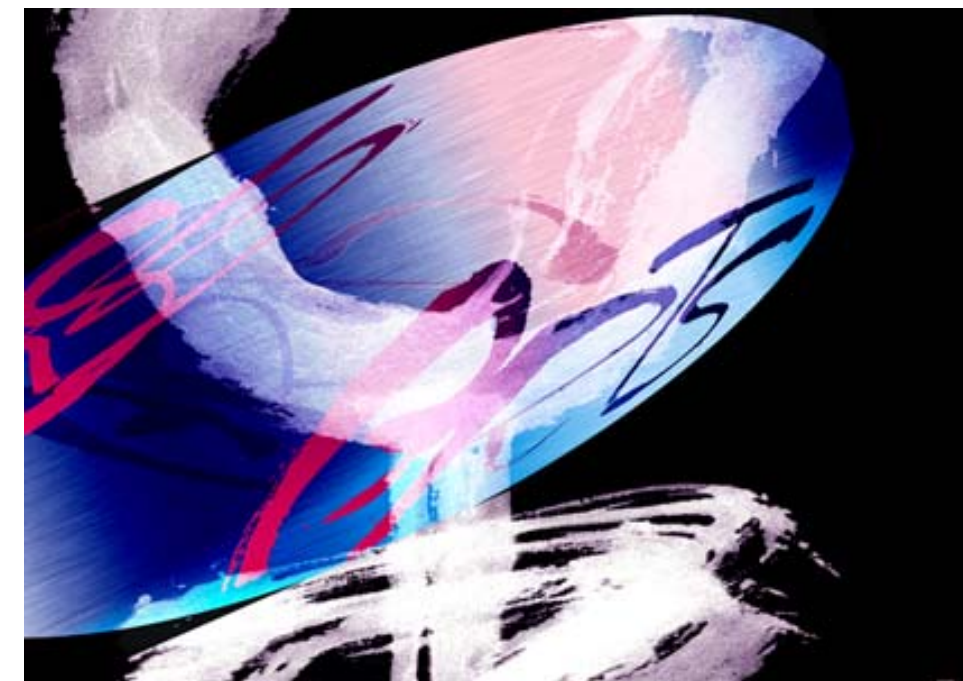
風の会事務局 通常業務時間:
月～金(祝休) 朝10時～夕6時まで
お気軽にお越しください!



デジタル書

提供:「現代文字研究所」
代表 山本好美さん

第1回 国際手書き文字 Art 展
作品募集中!
※詳しくは裏面の新会員さんの紹介をご覧ください。



もったいない =エアディナー大会に寄せて=

最近、「もったいない」という言葉を思い出すようなことが多く見受けられる。コンビニで売られている食料品、ホテルやデパ地下の惣菜売場にしても、賞味期限という線引きで、翌日には残せないというので、夜中に処分されている。さらに、ホテルや結婚式のパーティーのあとのテーブルの上には3割や4割近いものが残されていて、もったいないという思いを持った経験は誰にもあると思います。我々は食材がこんなに粗末に扱われていることに鈍感になり過ぎているのではないかと。世界を見渡せば、一日に一回しか食べられない子供達や、食事も与えられずに飢えている人がいる現実がある一方で、まだ十分食べれるものが、例えば賞味期限を超えたという理由で、ゴミとして処分されている。中身も吟味せず自動的に捨て去って良いものだろうか? こんなことを仲間うちで話しているうちに、エアディナーの大会で優勝した日本人がいることが話題になり、それなら、エアディナーについても同じような事が出来るのではないかと。話題になっているガバイばあちゃんの生き方のように、面白く・明るく、しかも食の大切さをさらりと訴える。ただ遊びとしてだけではなく、少し社会性を持ったコンセプトで、世間にアピールしようということで、今回のエアディナー大会というイベントを行うことになった。何もないものを食べたふりをする落語の”時そば”のような、パントマイムであるが、この何もないものから食について、いろいろと考えてみると、飽食時代の日本の食というテーマに突き当たったのが今回のエアディナーの発端です。最初は思いもかけずマスコミに取り上げられ、我々の問題提起に手ごたえのようなものを感じている。「もったいない」というキーワードで、いろいろなことを考えるきっかけづくりになることを期待しています。